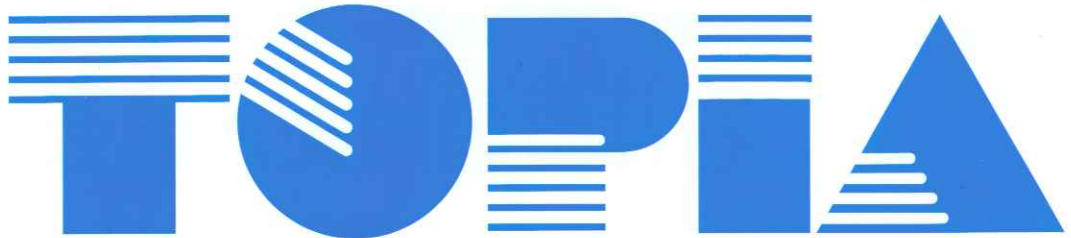


第63号



2015.03



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL: 088-656-3303

平成 26 年度

国際理解支援フォーラム



蓮井氏による講演



バリ舞踊の様子

徳島県には、現在約 70 カ国、約 5,000 人の様々な文化的背景をもつ人々が共に暮らしています。急速なグローバル化が進む中、言葉の壁や母国との慣習の違いにより、毎日の生活の中で支援を必要としている人がたくさんいます。当協会では、広く県民のみなさんが多文化共生推進の必要性を知り、さらに「国籍や民族が異なる人々と共に、より良く暮らしていく社会づくり」を考えてもらうために、2月8日（日）に国際理解支援フォーラムを開催しました。

第1部では、元アナウンサーで香川国際ボランティアセンター代表理事の蓮井孝夫氏をお迎えし、「ちがいを認め支え合う社会づくり」と題してご講演いただきました。蓮井氏は地域での挨拶や世間話から始まるつき合いが地域に住む外国の人々との関係においても同じであり、共に地域社会を支える主体であるという認識を持つことが多文化共生推進につながると語られました。

第2部では県内在住の当協会国際理解支援講師であるアハメド イブラヒム エルホサニ氏（エジプト出身）とモロムジャムツ エンベジャルガル氏（モンゴル出身）がそれぞれ自国の生活や文化、徳島での生活体験などについて紹介してくれました。そして、講師2名と蓮井氏との対談等を通し、様々な角度から「多文化共生」について改めて考える機会をもちました。

第3部では外国の珍しいお菓子やスナックを囲み、講師の方々と在住外国人の方々を含むフォーラム参加者との交流会をおこないました。当協会講師ニ ブツ アユ コマワワティ氏（インドネシア出身）がバリ舞踊を、張偉氏（中国出身）他有志が歌を披露し、和やかなひとときを過ごしました。

本フォーラムでは、在住外国人の方々と実際の交流の場をもつことにより、多文化共生を進めていくきっかけ作りができました。当協会では今後もこうした多文化共生の推進につながる機会づくりに努めて行きたいと思っています。

石井町国際交流協会

会長 遠藤 敦子

石井町国際交流協会は、1992年設立し、「交流協会は石井町民と諸外国の人々が相互理解と友情の上になんて交流を盛んにし、世界の平和と繁栄に貢献することを目的とする」という規約ののっとり、活動をしてきました。

1994年にJETとしてカナダから来られたシェリー・ルイス先生の紹介でカナダのマニトバ州ミニドーサ町と交流関係を結び、1995年に視察団を派遣、1996年には、友好関係の同意書に署名し交流関係が始まりました。学生を中心に5回に亘り訪問団派遣、カナダからも4回の来町があり交互にホームステイの受入れをしました。子どもたちにとっては、カナダの広大な土地や景色などあらゆるものが新鮮で感動的だったと思います。帰国後メールを始めたり、英語を学ぶ意欲にもなったり、ホームステイで得た体験は彼らの人生に大きな影響を与えたようでした。子ども達の純粋な交流は、将来の国際社会にとっても期待されるものだと思います。2008年には、カナダに日本庭園がオープンし、地域のたくさんの方々のボランティア活動により維持・管理されているそうです。カナダ人の温かい友情に感謝しています。

しかし、交流事業もスムーズに行ったわけではなく、アジアで流行した鳥インフルエンザやサーズでカナダからの訪問が延期になりました。その後、多額の個人負担ということや遠距離であること、参加希望の子どもの減少で苦心の末休止せざるを得なくなりました。

私たちは、地元で交流することを考え、カナダと石井町内小学校の児童のメール交換を始めました。また、鳴門教育大学や徳島大学の留学生を招待したり、中東アジア教員との交流会（2009年）、中国青年代表団との交流会（2010年）、大洋州留学生との交流会（2010年）などを通して異文化体験をしました。中でも私の思い出は、中国青年団38名との交流会で、中国の各省代表団として優秀な青年が来町したことです。私たちにとって中国語を習っていた日頃の成果を試す良い機会でもあり、約15人の会話のできるメンバーを揃えました。これには中国人もびっくりしたようです。茶道でおもてなしをしたり、日本の伝統玩具で遊んだりして交流を深めました。最後は、中国で流行していた日本の歌『四季の歌』を肩を組んで歌いました。彼らは私たちと交流したことで日本人の良さを認識してくれていることだと思います。私のような一町民が国を代表するような方々と交流できたことは、とても光栄でした。

当協会では、年4回（3月、6月、9月、12月）に『ニュースレター』を発行しています。行事や外国人の紹介、海外で活躍した方の記事を掲載し、会員に情報を発信しています。ご支援を頂きながらも、もう35号を発行することになりました。

また、英会話や中国語教室、外国料理教室、コンゴ出身でパーカッション・キーボード奏者であるモフランさんのチャリティコンサート参加など多彩な講習会や行事を開催し多文化交流に努めています。最近では、台湾のお琴演奏会、トルコやインドネシアのお話などを聞き地域の方々にも好評を得ています。長年続いているAJETミュージカルも、子ども達に人気があり、先日『Ann and the Snow Queen』は約600人の来場者で賑わいました。今後も継続して頂けるように石井町と共に頑張りたいと思います。

最近、町内にも外国人が多くなり、日本語教室の必要性が重要になってきました。昨年6月に県から受託し日本語指導ボランティア養成講座（文化庁事業）を48時間開催し、27年度は実践の場を持つよう検討中です。

私達国際交流協会の問題は、数多くの行事を開催しても会員の参加が少数であること、若い方の加入が少ないことが問題です。グローバル化が叫ばれる中、親子で国際交流に参加し視野を広げることは大切なことだと思います。地道ではありますが、役員共々楽しみながら国際交流を広めていこうと思います。



a JET Tokushima Musical

AJET 徳島英語ミュージカル監督
ジェイミー ウダン

この7ヵ月間、監督として AJET ミュージカル「Anna and the Snow Queen」開催に向けての最初の企画から最終公演まで楽しく準備することができました。このミュージカルは徳島県ですべての年齢層の方たちへ無償で英語教育推進を目的として行っています。今年は話題作をミュージカルに取り入れ徳島県風にリメイクをし、来場者の方たちは上演中に出てくる徳島県の名所、阿波弁、そして着物を着ているキャストたちを見て魅了されていました。

ミュージカルは徳島県の JET プログラム参加者が21年前に小規模なプロジェクトとして始めましたが、長年にわたり大きく成長しました。最近では、JET プログラム参加者以外で徳島県民の方々、もしくは留学生として在住している外国人の方がボランティアとして参加して下さっています。

私たちは皆様からの御協力に感謝しております。ミュージカルを成功させるために私たちは努力を惜しまず取り組んでいます。ミュージカルは無料で行われるため、限られた予算でボランティアたちは1月と2月にスケジュールを組んで衣装、小道具、そして背景画を作成しながら150時間以上におよぶ練習を積み重ねてきました。会場によってステージの大きさ、配置、音響設備などが違うため、私たちが柔軟に対応し、沢山の方々にミュージカルを楽しんでいただけるよう努力をしています。

私たちにとってミュージカルは英語教育推進だけではありません。ボランティア間の交流、そしてボランティアと来場者の方たちの交流は文化交流となり、お互いにとって素晴らしい体験となっています。今年は9カ国30人以上の方たちがミュージカルを成功させるという目標のために団結しボランティアとして参加をし、沢山の方々に楽しんでいただけたと思います。これからも引き続き皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。



フィナーレの様子



徳島にちなんだ狸も登場

3月に3人の方がTOPIAでの任期を終えられました。在任中は徳島県の国際交流などに沢山で尽力いただきました。みなさん、これからのご活躍を期待しております！

我爱 TOPIA

多言語電話相談（窓口案内）員（中国語担当）

藤原 唯

気

づけばお別れの時期になりました。長い間たくさんの方々に支えてもらい、お世話になり、本当にありがとうございました。

振り返ってみると、TOPIAにきた当初、ただ外国の人達の役に立ちたいという気持ちだけで、何をしたらいいのかかわからず、戸惑や不安な気持ちでいっぱいでした。でも、私が中学2年生の時に日本に来た時、TOPIAの日本語クラスやスタッフのサポートが当時の私にとって、すごく助けになったことを今でも覚えています。だから、いろんな経験をしたことによって、今度は私が助けになりたいという思いで、たくさん外国の人達と接しました。私がTOPIAに居るから心強いつて思ってもらえた時に、涙が出るほど嬉しい気持ちになりました。それから、学校現場に中国から来た子供達の通訳支援にいくうちに、もっと理解してあげたい、頼りにしてもらいたいという気持ちがさらに強くなりました。当時、言葉もわからず、強がっていた自分を思い出しながら、時には辛くなったり、凹んだりしましたが、私にしかできないことは必ずあると思って、少しでも多くの情報や二つの文化を持つすばらしさを伝えました。それ以外にも、阿波生活の編集やモニターツアー、湖南省との交流関係の通訳などの仕事に関わる事ができて、さらにやりがいを感じました。今は、ただ役に立ちたいだけでなく、日本を、日本人を好きになってもらいたいという気持ちに変わり、いろんな心境を振り返りながら、改めてこの五年間は私のかけがいのない宝物だと思っています。

出会いがあれば、別れもあり、お別れをするのは本当に寂しいのですが、ここで経験したことは、忘れません。

最後に、TOPIAの皆さんをはじめ、多くの皆さんに出会えたこと、一緒に笑ったこと、泣いたこと、すべてが大事すぎて、正直、今まだお別れする気持ちの準備ができていません。でも、皆さんにちゃんと感謝の気持ちを伝えたいと思います。今まで本当にありがとうございました！またお会いしましょう。

再 見 徳 島

徳島県国際交流員

崔 福実

皆

さん、こんにちは。徳島に昨日来たような気がします。あっという間に一年が過ぎ、桜の綺麗な時期に皆さんとお別れすることを思うと、寂しい気持ちが湧いてきました。

徳島県庁に国際交流員として勤めたことは、私にとって人生の宝物だと思います。この一年間、親切な同僚たちのおかげで、とても楽しく仕事ができ、有意義な日々を過ごすことができました。通訳、翻訳、中国語講座を通して、中国ではできなかったことをたくさん経験しました。また、国際交流イベント、阿波踊り体験、1200年を迎えた四国88ヵ所のお遍路体験などで徳島の皆さんと出会い、いい思い出をたくさん作ることができました。

宝島の徳島に来て本当に良かったと思います。休日には、世界一の「鳴門の渦潮」、西日本第二の高峰「剣山」、日本三大秘境といわれる祖谷の「かずら橋」などを訪ねたり、徳島県の豊かな自然や阿波おどり、藍染め、人形浄瑠璃などの徳島伝統文化に触れたり、鳴門金時、鯛など新鮮で安全・安心を誇る徳島の豊富な食材を存分に堪能しました。

一年間という短い時間でしたが、私にとってはチャレンジと収穫が共存する充実した一年間でした。宝島の徳島と皆さんの優しさは一生忘れません。「会うは別れの始め」別れは悲しくて寂しいことですが、徳島で皆さんと知り合って友達になれたことは何より大切なものだと思います。皆さんの友好的な感情を持ち帰って、このことを中国の人々に伝え、徳島の良さを存分にアピールしたいと思います。帰国後も、微力ながら引き続き中日友好の架け橋になって、湖南省と徳島県の友好のために頑張りたいと思います。一年間、皆さんには大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。「別れは再会のため」という言葉を信じて、「さようなら」ではなく、「また会いましょう」と言いたいです。いつかどこかで皆さんと会うことを楽しみにしています。皆さんも、ぜひ中国、湖南省へいらしてください！再见！

TOPIA 研修生として

長期社会体験研修生
森本 美緒

4

月より1年間 TOPIA で勤め、小学校現場で得られる事はない貴重な体験をしました。

一つめは TOPIA での日常業務です。来所した外国人への観光案内、図書の貸し出し、コピーや無線 LAN サービス、日本語教室の手続き等、その業務は多岐に渡り、慣れるまで大変でした。

二つめは自分が主となる国際理解支援講師派遣と職場体験に関する業務です。国際理解支援講師派遣とは県内の諸学校等へ当協会登録の在住外国人講師を派遣する仕事です。私も実際にいくつかの学校へ出向き、国際理解教育の授業を見る事ができました。中高校生や大学生主体の職場体験では、スタッフの講義や実習の計画や準備、連絡係を担当しました。普段接する事のない小学生以外の学生と接する事が新鮮でしたし、同時に国際交流の促進という大切な役目を担う TOPIA の仕事全体を理解する事ができました。

三つめは JICA のエチオピア教師海外研修です。学校教育の内容を聞いたり、珈琲や蜂蜜農家を訪ねたり、海外青年協力隊員の話に耳を傾けたりして、途上国の実情を知ることができました。この体験を子ども達に伝え、共に世界のために何ができるか考え、実践していく事が自分の使命であると感じました。

四つめは自ら立案した国際理解支援フォーラムです。蓮井孝夫氏と在県外国人講師による話をもとに多文化共生について話し合い、その後他国の舞踊や歌などのパフォーマンスを盛り込んだ交流会を催し、非常に楽しく有意義なひとときをもつことができました。

五つめは職員の方々の暖かさです。不慣れな職場で行き届かない点多々ありましたが、陰になり日向になり支え続けてくれた方々のお陰で無事一年を過ごすことができました。

振り返ると楽しい事ばかりで生涯の宝物となりました。どうも有り難うございました。



左から（崔さん 藤原さん 森本先生）

（公財）徳島県国際交流協会主催！

2015 年度 外国人による徳島県日本語弁論大会

出場者大募集

お知り合いの外国人の方にぜひおすすめください！

1. 日時・場所 2015 年 7 月 20 日（月・祝日） 13:30～16:30
あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）5F 小ホール
2. 応募資格 徳島県内在住の日本語を母語としない外国人（日本での義務教育を3年以上受けていない方。また前回までの上位入賞者を除きます）なお、書類選考があります。
3. テーマ この大会の開催趣旨に沿ったもので、異文化理解・多文化共生に関するものであれば自由です。
4. 弁論時間 一人当たりの発表時間は、6分以内とします。
5. 主催/出場申込先 公益財団法人徳島県国際交流協会（トピア/TOPIA）

*詳細は当協会（とくしま国際戦略センター）のホームページをご覧ください。

TOEIC講座&映画上映を無料同時開催!!
お気軽にお越しください。

JICAボランティア（青年海外協力隊・シニア海外ボランティア）春募集説明会のお知らせ



**JICAボランティア
大募集！**



参加無料

予約不要

入退場自由

JICA ボランティア H27 春募集に合わせて募集説明会を開催します。「具体的に話を聞きたい」「不安な点を聞いておきたい」「現地の様子を知りたい」等、ボランティア事業に対する質問は何でも受付ます。気になる点を解消して国際協力の第一歩につなげてください。

日 時：4月4日（土）、4月19日（日）13：30～17：00

場 所：TOPIA 大会議室（両日）

プログラム：共通プログラムとして「概要説明」「ボランティア体験談」「応募相談」があり、日替わりで、TOEIC 講座（4/4）と映画上映（4/19）を行います。

【4/4（土）】

開始時間	スケジュール
13:30	説明会開始
13:45	JICA ボランティア活動紹介映像上映
14:00	JICA ボランティア概要説明
14:15	JICA ボランティア体験談（徳島出身） 青年海外協力隊、シニアボランティア
15:15	休憩
15:20	初めての方のための TOEIC330 点講座
16:00	個別相談会
17:00	終了

【4/19（日）】

開始時間	スケジュール
13:30	説明会開始
13:45	映画上映『クッキングアップドリームズ Cooking Up Dreams』
15:00	休憩
15:05	JICA ボランティア概要説明
15:20	JICA ボランティア体験談（徳島出身） 青年海外協力隊、シニアボランティア
16:20	個別相談会
17:00	終了

【初めての方のための TOEIC330 点講座】

JICA ボランティアへの応募にあたり、英語はどれくらいできればいいの？ TOEIC を受けたことがないから分からない！という方のために、少しだけ TOEIC 試験を体験できる講座を開きます。

【映画「クッキングアップドリームズ Cooking Up Dreams」】

世界中に浸透した食材のトマトや唐辛子、じゃがいもの原産地である南米ペルーの食文化を見つめたドキュメンタリー。ペルーの食文化を海外に発信することで、国を活気づけようとするシェフや若者たちの奮闘ぶりをペルー各地と世界各国を巡りながら探っていく。

< JICA ボランティア春募集受付期間 > 2015 年 4 月 1 日～5 月 11 日

ボランティアの詳細は JICA ホームページ
<http://www.jica.go.jp/volunteer/>
をご参照下さい。

お 問 合 せ

【JICA 徳島デスク（TOPIA 内）】

電 話：088-656-3303

メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

平成27年度 前期 TOPIA 日本語教室 受講案内

テキスト：「みんなの日本語Ⅰ」「みんなの日本語Ⅱ」（第2版）を中心に季節の行事や、徳島の生活について勉強する。

曜日	講 師	講 義 内 容 (それぞれ20回)	開始日
火曜日	初級Ⅰ 元木	《みんなの日本語Ⅰ》14 課～ 動詞の活用形、て形、ない形、辞書形などと、それらを使った文型を学ぶ。	4/7
水曜日	グループ学習	レベルにあわせてグループをつくり学ぶ。(要予約) *託児あり (要予約) *都合で学習・保育の場所が変更する場合あり。	4/8
木曜日	初級Ⅲ 山田	《みんなの日本語Ⅱ》38 課～理由、受身、使役、敬語表現などを学ぶ。	4/9
金曜日	入門 青木	《みんなの日本語Ⅰ》1 課～ 日本語の基本的な表現をはじめから学ぶ。	4/10
日曜日	初級Ⅱ JTM	《みんなの日本語Ⅱ》26 課～可能、意向、命令、禁止、条件などの表現を学ぶ。	4/5
	グループ学習	レベルにあわせてグループをつくり学ぶ。(要予約)	

★特別入門クラス

木曜日	木村他	ひらがな・カタカナが読めない人、書けない人のクラス。生活する上で必要な情報提供や案内なども随時行う。	通年
-----	-----	--	----

★初級まとめ集中講座

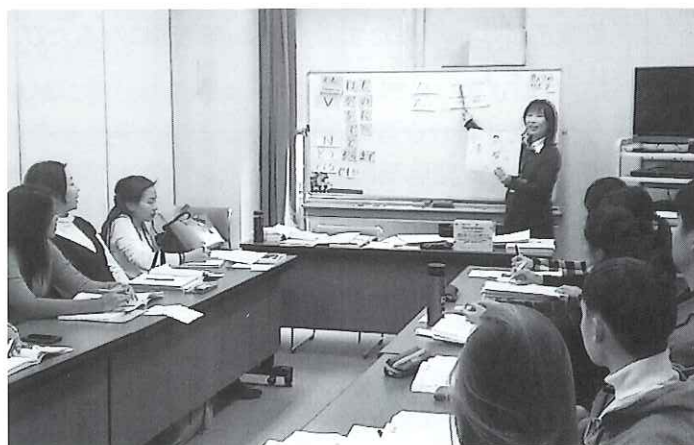
4月11日/18日 (土) 13:00-16:10 25日 (土) 10:30-12:00 &13:00-16:10 29日 (水・祝日) 13:00-16:10	JTM の 先生	初級の日本語を修了した人や、長年日本に住んでいて日常会話ができる人が対象。初級で学習する文法や文型をまとめて勉強し復習する。 (3月28日までに申し込みをしてください。無料) *託児あり (要予約)
---	-------------	---

***時 間**：10:30～12:00 (集中講座は除く) **場所**：徳島県国際交流協会会議室 (TOPIA)

***受講料**：すべてのクラス無料 (多くの方に勉強してもらいたいため今年度は無料です。)

***台風・大雨・大雪の状況により急にクラスが休講になることがあります。ご了承ください。**

★阿南市国際交流協会、藍住町国際交流協会、吉野川市国際交流協会、NPO法人美馬の里でも日本語教室を開催しています。



日本語クラスの様子

「とくしま外国人支援ネットワーク会員」 募集中

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

近年、気象の変化に伴い台風などをはじめ、南海トラフ巨大地震も危惧されています。ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめ、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

英語・中国語による多言語電話 相談・窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語対応の相談（窓口案内）員を配置しております。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフォン）もご紹介します。是非、ご活用ください。

受付時間：平日 10:00～18:00

TEL：088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合もありますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受け取ることができます。

年会費 個人会員 一口 3,000 円 / 年度

団体会員 一口 5,000 円 / 年度

詳細は当協会まで。資料をお送りします。

機関誌「TOPIA」記事募集中!

当協会に登録されている団体で、機関誌「TOPIA」に掲載する記事を募集しています。貴団体の国際交流活動等を紹介しませんか? 詳しくは当協会までお問い合わせ下さい。

「多文化共生の社会づくり」 パネルを貸し出します

あいぽーと徳島と当協会では、外国人の方の人權にスポットをあてた人権啓発パネルを新しく作成しました。講演会や研修会などの際に、このパネルと一緒に展示しませんか? 無料貸出しいたします。当協会にお申し込みください。



編集後記

寒い冬が明けて、暖かい春を待ち望んでいた方々が多かったのではないのでしょうか。しかし、暖かくなるにつれて花粉症で困っている同僚たちの姿を見て痛々しく思う今日この頃。私もいつ花粉症デビューを果たすのかとこの時期になるたびに思います。

問い合わせ： 公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-61
クレメントプラザ 6F

Tel : 088-656-3303

Fax : 088-652-0616

URL : <http://www.topia.ne.jp>

Email : topia@topia.ne.jp